

令和3年第1回定例会総体質問通告事項

3 月 11 日	<p>加納康平議員（公明党・木曜会）</p>	<p>質問方式：一問一答方式</p>
	<p>1 防災・減災対策について</p> <p>(1) 本市の急傾斜地や斜面地対策で新年度に予定している箇所は。また、現時点で今後懸念されている市域内の対策箇所は何カ所あるか</p> <p>(2) フォレストベンチ工法も土砂災害防止の斜面地工法には大変有効なものと考え提案しているが、市内での試験的な施工実施を検討する考えはあるか</p> <p>(3) 市内の自主防災組織の結成や育成状況はどのような推移となっているか</p> <p>(4) 災害時における避難の呼びかけ体制は重要で、特に高齢者や障がい者など災害時要援護者への避難誘導、呼びかけは地域が日頃から連絡網など体制づくりをしていなければ実効性はないと思う。市内、自主防災組織等の避難の呼びかけ体制の活動状況についてお聞きする</p> <p>(5) 今年、令和3年夏には、災害時に避難情報や避難所開設情報などの防災情報を放送する、ラジオ付き戸別受信機（デジタル防災無線機）が、申し込みをされた方に設置される予定となっているが現在までの申込件数は</p> <p>(6) 本市の「ため池」整備状況はどのようになっているか。現時点での所有者や管理者不明の未届け件数は何件かお聞きする</p> <p>2 デジタル化・スマートシティ尾道の推進について</p> <p>(1) 本市の目指す、スマートシティのイメージや構想を伺う</p> <p>(2) 本市では、令和2年度からスマートシティ推進担当参事を設置しているが、これまでの取り組みや実施中のもの、及び今後計画しているものについて伺う</p> <p>(3) スマートシティ尾道の推進にはマイナンバーカードの交付促進がひとつの決め手であると思う。交付の普及促進と目標設定についての考えは</p> <p>(4) ウイズコロナ、アフターコロナと言われ、今までできなかったことが、デジタル化によって可能となるなどコロナ禍によって新しい試みが生まれてきている。デジタル化の構築にはあらゆる関係性をつなぎ官民一体となって取り組むことが重要だ。このような考えをどのように共有し結集しようと考えているか</p>	

<p>3 月 11 日</p>	<p>(5) 今後ソフト・ハード両面において取組んでいく必要があると思う。電子決裁・ペーパーレス化といわれて久しいが、まだまだ個々人の意識には旧来のやり方や考え方が根強くあり、推進するにはソフト面において考え方を変えていく必要もあるかと思う。推進に際し、どのような課題があると考えているか</p> <p>3 新型コロナウイルスの感染症対策関連事業とワクチンの接種体制について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症対策関連事業について</p> <p>ア コロナの影響が長期化する中で、本市全体及び業種別の景況感、雇用状況についての現況はどのように見ているか。又、テレワーク環境の整備については、市内事業者のみならず本市の魅力を活かした県外からの積極的な受け入れや提案もすべき。創業・開業等支援事業、オフィス移転促進事業、生産性向上促進事業などはしっかり成果を上げて頂きたいと思うが考えは</p> <p>イ 2月補正予算では、事業継続特別支援事業補助金は大きく減額となっている。寄り添った支援体制の強化に際し、本市の中小・小規模事業者への各種補助金や支援策は周知・活用されているか。実態把握の調査についてはどうか</p> <p>ウ 「市民生活の支援」からの視点として、主にどのような事業を考えているのか</p> <p>(2) ワクチン接種体制について</p> <p>ア 現在までのワクチンの受け入れや供給状況についての準備はどのようになっているか。又、接種は集団接種、個別接種があるが、本市としてどのような接種方法を考えているか。合わせて医師会等との連携協力体制について伺う</p>
-----------------------------	--